

## 病院の概要

- 病床数 504 床
- 医師数（研修医を除く）50 名（うち指導医数 9 名）
- 研修医数 1 年目 4 名 2 年目 1 名
- 研修医の主な出身大学 群馬大学・杏林大学・東京医科歯科大学・岐阜大学・大分大学・東北大学・埼玉医科大学・旭川医科大学・福井大学・昭和大学
- 診療科 内科 循環器内科 消化器内科 消化器外科 呼吸器内科 腎臓内科 神経内科 リウマチ科 外科 肛門外科 整形外科 脳神経外科 血管外科 皮膚科 泌尿器科 眼科 耳鼻咽喉科 小児科 麻酔科 放射線科 病理診断科 リハビリテーション科 心療内科
- 1 日平均外来患者数 753 名 ● 1 日平均入院患者数 391 名
- 主な認定施設 地域医療支援病院、災害拠点病院、基幹型臨床研修病院、がん診療指定病院、病院機能評価認定病院（3rdG:ver1.0）、埼玉県救急搬送困難事案受入病院、二次救急指定病院、日本 DMAT 隊員養成研修終了施設、埼玉 DMAT 指定病院



## 研修プログラムの特色

とくに外科系は、指導医や専門医も多数在籍しているため多角的な視点で指導を受けられます。手術や内視鏡は件数が充実。実際に手技を経験できる環境にあります。また、内科系に関しても各専門医が揃っており「身近にあって、何でも相談にのってくれる総合的な医療」【プライマリ・ケア】を経験することができます。将来何科に進もうか、ある程度の道筋がついている人にとって当院での研修は本当に有意義なものとなるでしょう。

また、地域医療の基幹病院として、一般診療、救命救急を通して、プライマリ・ケアを中心に幅広い診療能力を身に付け、消化器をはじめとした全身管理を習得するとともに、チーム医療の一員としての役割を自覚し、医師として必須の人格を涵養することを目指します。またクリニック、老人保健施設など法人内他施設と連携して研修内容を広め、法人全体で研修医を育成します。2 年次の最終ステップでは、自主的に選択科を決め、3 年次以降の専門研修への橋渡しとして活用していきます。



## プログラム 例 ▶▶▶ 標準コースプログラム（募集定員 6 人）

	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月
1 年目 ▶	内科						救急			※その他必修科目		
2 年目 ▶	地域医療	※選択科目										

※内科研修は、呼吸器内科・循環器内科・消化器内科・一般内科・腎臓内科をローテーションします。

※その他必修科目：外科・精神科・小児科・産婦人科

※選択科目：内科・外科・整形外科・脳神経外科・小児科・耳鼻咽喉科・皮膚科・泌尿器科・眼科・救急・麻酔科の中から選択

※産婦人科は埼玉医科大学にて研修、精神科は済生会鴻巣病院にて研修を行います。

## 研修医の処遇

- 給 与 ▶ 1 年次：年俸 700 万円（税込）2 年次：年俸 750 万円（税込）  
※当直（副直）手当、休日手当、時間外手当、その他手当を含む
- 保 険 ▶ 健康保険、労災保険、厚生年金保険、雇用保険  
医師賠償責任保険（個人にて任意加入）
- 勤務時間 ▶ 月変動型 40 時間制 平日 9 時～18 時 土曜日 9 時～13 時
- 当 直 ▶ あり（4～5 回/月）※副直として
- 休 暇 ▶ 日曜日、祝祭日、年末年始（12 月 31 日～1 月 3 日）
- 宿 舎 ▶ あり（家賃補助あり）
- そ の 他 ▶ 就業規則に定めるところによる

## 主な臨床研修協力病院・協力施設

- ・ 埼玉医科大学病院
- ・ 埼玉医大国際医療センター
- ・ 済生会鴻巣病院

## 当院の魅力

### 働きやすく積極的に手技を学べる環境

当院は地域医療支援病院、災害拠点病院、がん診療指定病院、埼玉県救急搬送困難事案受入病院の指定を受けています。医局は、大学からの派遣はなく総合医局制度を敷いているため、診療科の横断的なコミュニケーションが可能でやりたい治療を実践できる環境です。

特に救急は、北部メディカルコントロール（MC）の埼玉県救急搬送困難事案受入病院に指定され、埼玉県北西部・北部から広域救急搬送を担っているため、受け入れ件数は地域 No.1（直近 1 年で 4901 件）であり、多様な症例を経験することができます。また、地域のかかりつけ医として感冒や各種諸症状の初期診療の体制も充実、急性期への入院から慢性期病床までケアミックス型であり完結型の医療を行っています。



### 研修責任者から

message

当院は医療過疎地域である埼玉県北部において最大規模を誇る地域の中核を担うケアミックス型の総合病院です。地域からの信頼も厚く、紹介件数や救急搬送件数も年々増加しており、生活習慣病から貴重な手術症例などを広い範囲で経験することができます。また、「どれだけ手技を多く経験できるか？」という点については、他の研修病院と比較しても抜きん出ている。「順番がまわってこない・・・」ということもありません。あらゆる現場に積極的に参加してください。研修中以外の診療科からも勉強になる症例・検査が発生した場合にはコールされることがあり、医局・職員全体で指導を行う体制が整っています。地域の健やかな暮らしを守るための診療能力を身につけようと考えている医学生のご応募をお待ちしております。



病院管理者  
林 暁

### 先輩研修医から

message

どれだけ手技を多く経験できるかどうかという点において、当院の研修は他の研修病院と比較しても抜きん出ているのではないかと思います。上級医の指導の下、研修医の立場では普通はなかなか経験できないところまで積極的に参加することが可能です。こちらがやればやるほど、やらせてもらえる手技も高度なものになっていくため、とてもやりがいがあります。また当院の研修でとても特徴的なことは、病院内をとても自由に研修できるという点です。現在研修中の科がどこであろうと、勉強になる症例・検査などがあれば他科であろうと積極的に呼ばれます。将来何科に進もうか、ある程度の道筋がついている人にとってはこの病院での研修は本当に有意義なものとなるでしょう。自分の習得したい手技、経験したい診療科を重点的に経験させてもらえます。

やる気のある方、とことん手を動かしたい方は是非とも一度当院を見学に来てください！



研修医 1 年目  
白川 雄規

### 女性医師支援コーナー

病院併設の 24 時間・365 日のひよこ保育園利用可能（要相談）。

定員 30 名（保育士 10 名以上在籍）。床暖房・病児保育室完備。

基本的には 3 歳までのお子様をお預かりしています。学童や幼稚園帰りのお子様もお預かりしています。

夜間保育は希望のある日に概ね月 14 日程度運営。事情のある場合には単発でもお預かりしています。

男性医師で奥様の都合や体調の悪い時などにも臨時でお預かりしています。

「子どもを預けられれば働けます」というご要望など、まずはお気軽にご相談ください。

連絡先 社会医療法人社幸会 行田総合病院

医師担当課

〒361-0056 行田市持田 376

TEL ▶ 048-552-1111（代表） FAX ▶ 048-552-1116

E-mail ▶ pub\_info@gyoda-hp.or.jp

URL ▶ http://gyoda-hp.or.jp

アクセス ▶ JR 線行田駅より徒歩 20 分またはバス 10 分秩父鉄道行田駅より徒歩 20 分 病院送迎車による送迎あり

### 病院見学、その他イベント・説明会等の情報

- 病院見学は随時可能です。お気軽にお電話、メールにてお問い合わせください。救急センター、内視鏡室、手術室といった実際の診療現場を見学することができます。研修医や指導医と面談していただき、研修の中身について理解を深めていただきたいと思います。
- 交通費や宿泊費補助もあります。